

令和5年度の主な事業



● シラリカ・あいあいプレゼント事業

新生児に向けた防災用品を出産祝い品としてプレゼントすることで、安心して子育てできる環境整備を図り、「赤ちゃんの防災」について考えるきっかけを提供します。

● 白糖海域増養殖調査事業

白糖漁業協同組合や民間企業と連携し、実証試験等により新たな魚種の掘り起こしと、増養殖の可能性にチャレンジしています。

▶カゴを用いた「稚ナマコ」の育成実験の様子。実験結果から白糖海域が水温、エサ、微細泥の存在など、ナマコの生息域として好条件を有していることが分かりました。



● 生活道路の整備

住環境の整備と利便性の向上を図るため、公園通りや明治通りなどの歩道舗装工事、若葉通りや庶路東1線通りの改良舗装工事など、計画的に生活道路の整備を行いました。



● 学校教育連携事業

英語教育等のプログラムが充実している私立田中学園と連携し、専門的な教育を受けるとともに「ふるさと教育」の一層の推進を図ります。

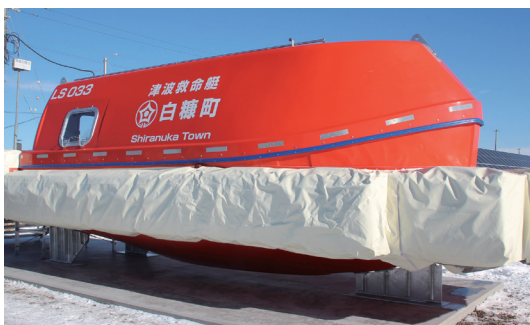


● 映画「シサム」プロモーション事業

「ロケツーリズム推進プロジェクト実行委員会」への支援・協力を行い、プロモーション事業を展開し、白糖町のアイヌ文化や歴史など、まちの魅力を広く情報発信しました。写真は同実行委員会の様子。

● 公衆無線LAN（Wi-Fi）の整備

恋問館やウレシパチセなどの施設や、社会福祉センター、公民館などの公共施設を対象に、Wi-Fiを整備し、利便性の向上と施設利用の促進を図りました。



● 津波避難施設等整備事業

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策として、津波避難タワーの設計や、津波救命艇などを整備しました。また、釧路白糖工業団地からの避難路等の設計および一部工事を行いました。

● 津波指定避難場所等照明設備設置事業

津波指定避難場所につながる避難路にソーラー蓄電型のLED照明を整備し、夜間における避難者の安全確保に努めました。

● 難聴児補聴器等購入費の助成

身体障害者手帳の交付対象としない軽度・中等度の難聴がある児童の言語の習得や、教育などの健全な発達を支援するため、補聴器等購入費の助成を行っています。



※写真はイメージです

■特別会計

区 分	歳 入	歳 出	差引額
国民健康保険	9億2,480万1千円	9億1,872万2千円	607万9千円
簡易水道及び飲用水道供給事業	1億2,534万9千円	1億269万8千円	2,265万1千円
公共下水道事業	6億4,782万7千円	5億3,019万5千円	1億1,763万2千円
介護保険	10億7,072万4千円	10億2,276万4千円	4,796万円
後期高齢者医療	1億4,676万7千円	1億4,672万5千円	4万2千円
合 計	29億1,546万8千円	27億2,110万4千円	1億9,436万4千円

特別会計
特別会計の決算は、歳入総額29億154万8千円、歳出総額27億2110万4千円になりました。

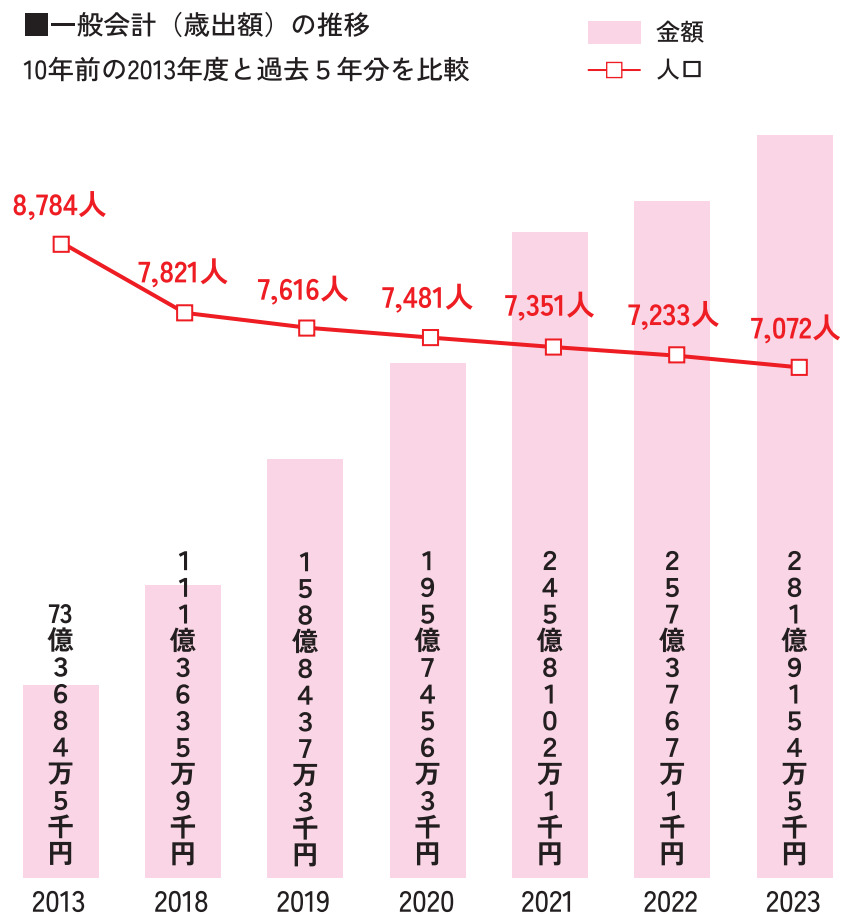
■水道事業会計

区 分	歳 入	歳 出	差引額
収益的収入および支出（税抜）	2億783万8千円	1億9,413万円	1,370万8千円
資本的収入および支出（税抜）	1,676万4千円	1億3,631万2千円	△1億1,954万8千円

水道事業会計
「収益的収入および支出」では、1370万8千円の利益を計上し、全額を減債積立金に積み立てました。
「資本的収入および支出」の不足額1億1954万8千円は、消費税資本的収支調整額、減債積立金等で補てんしました。

■一般会計（歳出額）の推移

10年前の2013年度と過去5年分を比較



財政健全化の推進
国は自治体の財政破たんを未然に防ぐため「健全化判断比率」という次の①～④までの4つの指標を用いて、財政状況を明らかにしています。本町はいずれの指標も基準を下回っていません。
①実質赤字比率【赤字額なし】
②連結実質赤字比率【赤字額なし】
③実質公債費比率【10・0％】

※早期健全化基準25・0％
※財政再生基準350・0％
④将来負担比率【算定なし】
資金不足比率
各公営企業の資金不足が事業規模と比較してどれくらいの割り合いを示すものですが、本町はすべての公営企業において資金不足はありませんでした。